

喜界町 図書館だより

〒891-6201 喜界町大字赤連小字樋口前30番地

5月号



【通算 第227号】
2015(平成27)年5月1日発行

TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp



《2015・第57回「子ども読書週間」4/23(木)から5/12(火)まで》

新緑がすがすがしいころとなりました。恒例の春の行事「子ども読書週間」が本年も開催されます。

今年の標語は『本は、キラキラ万華鏡』です。期間中、家庭、各学校、幼稚園、保育園等でもいっそうのご支援とご協力をお願い申し上げます。5月2日(土曜日)には、「図書館フェスタ」が開催されます。町民の皆様もこの期間中に子どもやお孫さんと一緒に図書館に出かけてみませんか。子どもの読書の発展のためによりしくお願いいたします。

..... ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

さて、幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、次の世代を担う子どもたちにとって、どんなに大切であるかはいまさら申しあげるまでもありません。本を読み、読んで考え、考えて行動する子どもたちが育つならば、青少年に関する多くの問題点も解決されるのではないのでしょうか。

家庭における読書環境の整備は、以下の3点がたいへん重要です。

- (1) 幼児には父母(保護者)が本を読んで聞かせてあげる。(読み聞かせ)
- (2) 子ども達の身近にいつも本を置くことを考え、毎日たとえ短い時間でも本を読むことを賞賛し、本を読むのを聞いてあげる。
- (3) そして大切なことは、父母(保護者)・家族みずからが読書する姿を、子どもたちの眼にふれさせる。やがて、そこに本を中心とした話題が生まれ、親子(家族)の対話に発展することは明かです。

.....   

喜界島には、昔から口伝として言い伝えられてきた伝説・物語・民話などがある。今月号からは、物語として伝えられている「大島民謡の『カトク・ナベカナ』の物語について」記述してみたい。

カトク ナベカナや きやしふどやあたか(嘉徳という人の娘の鍋加那は如何程の人であっただろうか)
親に水汲まち 居ちゆてあみゆんー (居ながらにして水浴びをするとは一)
カトク・ナベカナが 死じゃん声聞かば (嘉徳・ナベカナが死んだという声を聞いたなら)
三日や白酒(みき)つくて 七日は大祝しろ (三日間は白酒を造って、七日間はお祝いを続けよう)

※ 歌詞はまだ続きますが、紙面の都合上、続きは来月号に記載したいと思います。(文責: 登山 典壽)

おしらせ

喜界高等学校 美術展

4/28(火)~5/29(金)

喜界町図書館1階にて

第65回鹿児島県高等学校
美術展大賞
「人生×僕=」
竹内夢希
(平成26年度卒業生)

第13回 図書館フェスタ 5月2日(土)

★ 午前の部(10:30~11:30)

- 講話「戦後70年に思う」
喜界島の太平洋戦争について
講 師 野間 昭夫

★ 午後の部(13:30~16:00)

- おはなしの森
- 子ども映画鑑賞会
「南の虹のルーシー」

募集中!

☆ 読み聞かしのボランティアを
募集しています。

興味のある方は、図書館へ

ブックスタート
図書館からのプレゼント!
(コットンバッグ・絵本)



Bookstart

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心
ふれあうひとときを持つきっかけ作りのお手伝い。

★ 受け取りは0歳児のみ。
図書館にて随時受付

新



着

図



書



《おとなの本》



《こどもの本》



★『EPITAPH東京』 恩田 陸著 朝日新聞出版

東日本大震災を経て、東京五輪へ。少しずつ変貌していく「東京」を舞台にした戯曲「エピタフ東京」を書きあぐねている「著者」は、ある日、自らを吸血鬼だと名乗る謎の人物と出会い…。

★『田園発 港行き自転車』 宮本 輝著 集英社

絵本作家の賀川真帆は、15年前に亡くなった父の足跡を辿るため、小さな旅に出る。時を経て、出会うはずのなかった人々との縁が繋がりはじめる。

★『時耳みみか』 藤野 千夜著 講談社

平成生まれの女の子が、昭和49年にタイムスリップ！懐かしく優しい「あの時代」で、美々加は何に出会ったのか？

★『the SIX』 井上 夢人著 集英社

明日の出来事が見える。他人の心の声が聞こえる。虫を呼び寄せる…。どうして僕らには、他の人になんか能力があるのだろうか？不思議な能力を持った子どもたち6人を描く。

★『コミック密売人』 パッカリオ作 杉本 あり訳 岩波書店

1989年ブタベスト。15歳のシャーンドルは、秘密裏に入手したアメコミを、仲間と売りさばっていた。ところがコミックを提供してくれるミクラさんが失踪し、彼の人生もまた思わぬ変転を迎える。

★『「三面楚歌」によく気づいた韓国』 鈴木 高史著 日経BP社

★『風景写真の正しい撮り方』憧れの「絶景」を、もっと美しく撮る 学研パブリック 学研マーケティング

★『思い出はみたされないうま』 乾 緑郎著 集英社

★『太宰治の辞書』 北村 薫著 新潮社

★『それはどっちだったか』 マーク・トウェイン著 彩流社

★『だいすきのみかたパンツちゃん』 薫くみ作 ポプラ社
なかなか眠れないさあちゃん。そこへ、なかよしの「パンツちゃん」が登場。パンツちゃんを描いたがんちゃんの夢に遊びにいこうというのです。ふたりは、おふとんにもぐりこみ…。

★『お手紙待ってます』 小手毬るい作 WAVE出版

戦争のない、平和なカンガルー星にすんでいる、カンガルーのルー君は、森の中で、自分の子どもを探しているママの手紙を拾いました。ルー君はその手紙に返事を書いて…。

★『ドタバタヒーロードジルくん 4』 大空 なごむ作 ポプラ社

ドジルが苦勞して手に入れた、人気番組モンスターギアのおもちゃ。ところが偶然に偶然が重なって、そのおもちゃが壊れてしまった。ドジルが深く落ち込んでいると…。

★『ハートのぱっぱかたばみ』 広野多珂子え 福音館書店

身近でひっそり生きる植物かたばみ。知らぬ間に葉や花を閉じたり開いたりしています。ハートの葉っぱを目印に探してみましょう。「かがくのとも」から生まれた絵本。

★『ともだちはうま』 村上 しいこ作 WAVE出版

わにのきよしと、人間のしのぶ、凸凹コンビは、今日もなかよし。きよしは、頭がよくて人気者の、しまうものたかとしくんと大食い競争をしましたが…。

★『10分で読める発明・発見をした人の伝記』

塩谷 京子監修 学研教育出版

★『海づりにチャレンジ！』 千坂隆男著 金の星社

★『1時間の物語』 日本児童文学者協会編 偕成社

★『朝倉義景(コミック版日本の歴史45)』 加来耕三監修 ポプラ社

★『みらいへ』 平安座資尚 え サンマーク出版

3月のベストリーダーズ

一般図書	1	保寿院義姫 (伊達正宗の母)	高橋 義夫/著 中央公論新社	児童図書	1	しろくまちゃんのほっとけーき こくま社	雑誌	1	CHANTO 主婦と生活社
	2	桑港特急 (San Francisco Express)	山本 一力/著 文藝春秋		2	びっくり!!トリックアート5 汐文社		2	NHKきょうの料理 日本放送出版協会
	3	琉球の伝承文化を歩く3 (喜界島の伝説・昔話)	三弥井書店		3	ルルとララのホットケーキ 岩崎書店		3	文藝春秋 文芸春秋

3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	1	2
	休館日	喜界高等学校 美術部展示会 4/28~5/29				図書館 フェスタ
3	4	5	6	7	8	9
	休館日			資料 休館日		おはなし 会
10	11	12	13	14	15	16
	休館日			団体貸出 幼・保・ 支援・学童	子育て支 援来館日	おはなし 会
17	18	19	20	21	22	23
	休館日		早町小学校 団体貸出 (1~3年)	早町小学校 団体貸出 (4~6年)		おはなし 会
24/30	25	26	27	28	29	30
	休館日					おはなし 会

※ 休館日です (毎週月曜日・第1木曜日)
・開館時間 午前10時~午後6時

おはなし会・ミニ映画
毎週土曜日 午後2時~2時40分

3月統計 (開館日数25日)	貸出冊数	H26年度合計
	2,575 冊	45,831 冊
	来館者数	H26年度合計
	1,316 名	17,751 名